

Topics of the month

壱岐市逆参勤交代構想モデル地方創生テレワーク推進事業 「壱岐SDGs共創キャンプ」を開催

ふくおかフィナンシャルグループは、壱岐市及び平成28年度に官民協働で立ち上げられた一般社団法人壱岐みらい創りサイトが実施する「壱岐市逆参勤交代構想モデル地方創生テレワーク推進事業」の支援を行っています。その事業の一環として、壱岐市における地域課題解決やビジネス創出等に資する取り組みとして、壱岐島内にて1泊2日の「壱岐SDGs共創キャンプ」を実施しました。



キャンプに参加されたみなさま

この事業は、内閣府地方創生テレワーク交付金の制度主旨に基づき、都市圏から地方への人の流れを創出し、地域経済活性化や地域課題解決に繋げるため、壱岐市のテレワーク・ワーケーション先進地としての受入基盤、SDGs未来都市としての先駆性等の特色を活かし、関係人口創出、最終的には企業進出、移住・定住まで段階的に推進することで、地方創生を実現するとともに持続可能な地域社会の構築を目指す取り組みです。

昨年の12月3日(金)～4日(土)に開催した「壱岐SDGs共創キャンプ」には、まちづくり関連企業、メディア企業、ライター、クリエイター、デジタルマーケティング企業、経営コンサルタント、ミシュランシェフ、その



フィールドワーク
(みなとやゲストハウス、芦辺浦まちづくり)



フィールドワーク
(フグ陸上養殖場見学)



フィールドワーク
(壱岐焼酎、酒蔵見学)



フィールドワークで感じた課題をグループ内で共有



フィールドワーク(杵岐ゆず生産組合、加工場見学)



焼酎ミニミュージアムも見学



観光名所「猿岩」を見学



アイデア発表

他一般公募による計15名の方々が参加し、4つのテーマごとにグループ分けされ、杵岐市内でフィールドワーク、ワークショップ、発表等を行いました。

博多港からジェットfoilで杵岐に到着すると昼食の後、すぐにフィールドワークを実施。酒蔵、水産関連事業者、設計事務所、ゆず生産組合、オリブ園等を訪問し、それぞれの事業者の取り組みや考え・想いをヒアリングしつつ工場見学や街歩き等を実施しました。

その後は場所をテレワークセンターに移し、ワークショップを開催。フィールドワークで印象に残った取り組みや感じた課題をもとに、グループでテーマを設定し、取り組みアイデアを検討しました。翌日もワークショップの続きを行い、最後にはグループごとに取り組みアイデアを発表し、他のグループとの共有を行った。

て締めくくりました。

参加した方々に感想を伺ったところ、地元の人に愛されている食堂で味わった杵岐産の食材で作られた食事、自然と調和した観光名所など杵岐の魅力を感じただけでなく、杵岐島外からは感じられなかった地域のもつ課題に直面し、その課題解決に取り組む事業者や人と交流することによって学びを深めたことにより、今後も杵岐との関わりを持ち続けたいなどの感想が聞かれました。

ふくおかフィナンシャルグループはこれからも九州の魅力発信と地位向上を目指し、様々な取り組みを企画してまいります。